



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

令和2年9月30日(水)

国道7号能代バイパス 木製防護柵塗装イベント開催 編

国道7号能代バイパスの能代港入口交差点～豊祥岱交差点区間に、木製防護柵が設置されています。木製防護柵は設置から9年が経過し塗装がはがれています。そのため、4年前から耐久性向上と景観美化を目的に、ボランティアの手で防護柵を塗り替える塗装イベントを始めました。

4度目の開催である今回は、一般参加のボランティアの方の他に、能代市立南中学校の1年生56名がボランティアに参加してくださいました。

能代市南陽崎の黒松ハウス前に集合し、14時頃に開会式を行いました。開会式では、NW 能登会長の挨拶の後、塗装の作業説明・注意事項を確認して、記念写真を撮影。その後は担当の防護柵塗装箇所へと移動して塗装を開始しました。

作業は防護柵についている汚れを布できれいに拭き取り、防腐や防カビ・害虫予防効果がある木材保護塗料を使い、担当の塗装範囲を丁寧に塗り進めます。速く塗り終えた生徒は、周りの生徒を手伝う姿もみられました。道路側を塗る時はより安全に気をつけ作業し、熱中症対策として定期的に水分補給をしながら作業をしていました。

1時間ほどの作業で、木製防護柵は見違えるほどきれいになりました。中学生56名・一般参加のボランティアの皆さんのおかげで500mほどの木製防護柵を塗装することができました。

参加した中学生からは、「初めての作業なので難しい。」、「木の良さをいかした街づくりに参加して良かった。」、「地域に貢献できている実感があるのでこれからも続けていきたい。」という声がありました。参加記念にスギ製コースターとスギアロマオイルセットがプレゼントされ、良い記念になったことと思います。

来年度以降もこの取り組みを続け、美しい町並みを保っていききたいですね。

文：大坊 美寿紗



作業前に記念撮影



塗装作業の様子

今年はスギ製コースターとスギアロマオイルセットを
進呈